

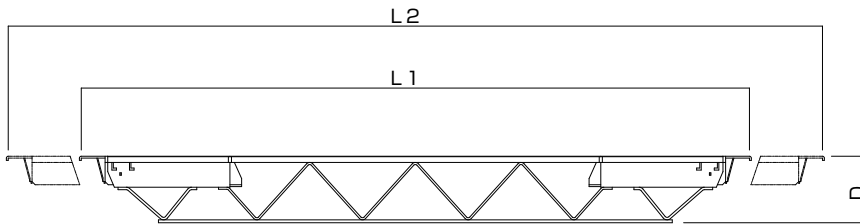


◆施工寸法と仕様

型式	施工躯体寸法 (mm)		質量 (kg)	許容曲げモーメント kN・cm (kg・cm)	許容端部反力 kN (kgf)	サイドビーム 数 量
	L ¹ ~L ² 寸法	本体高さ (D)				
AX11-14型	1120~1460	163	11.3	196 (20000)	7.05kN (kg/片側) (720kg/片側)	1
AX14-18型	1460~1825	163	12.5	196 (20000)		1
AX18-25型	1825~2525	272	19.0	421 (43000)		2
AX25-32型	2525~3225	322	23.0	519 (53000)		2
AX32-39型	3225~3925	322	28.0	598 (61000)		2
AX39-46型	3925~4625	323	35.0	637 (65000)		2

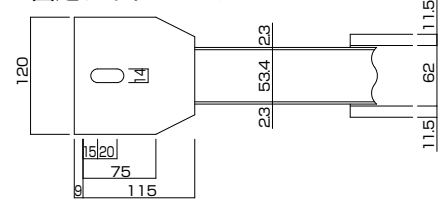
※回転サイドビーム使用の場合は施工躯体寸法が片側35mm長くなります。

◆形状・寸法

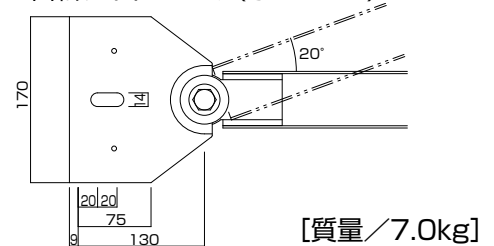


■端部詳細図

固定サイドビーム



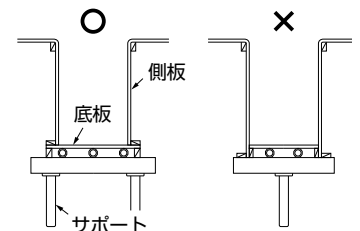
回転サイドビーム (オプション)



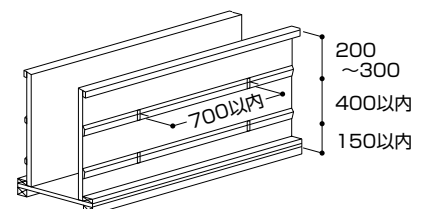
■軽量ビーム共通 (AX・SX) 注意事項

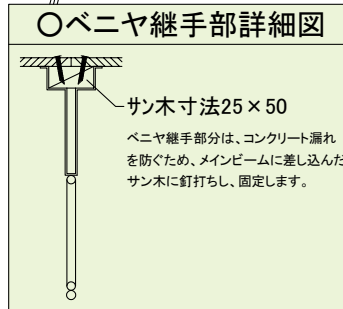
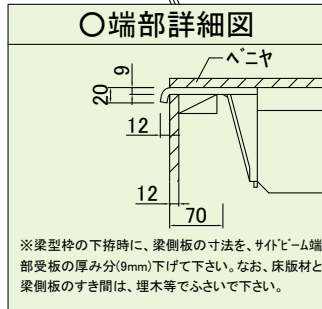
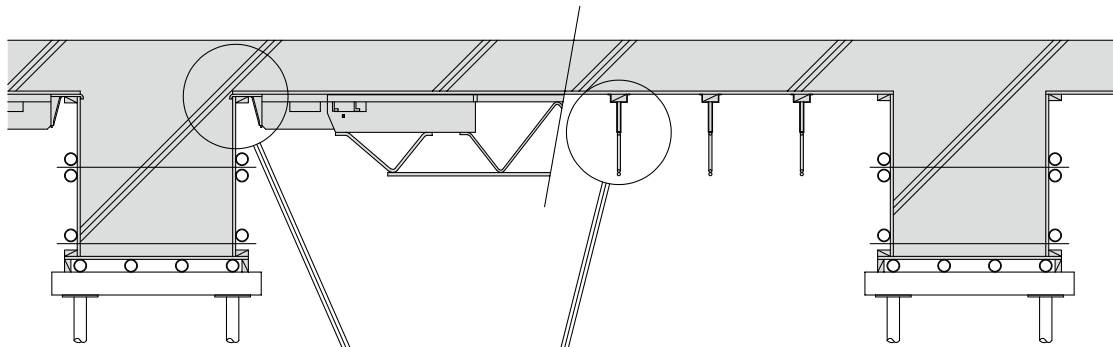
1. 梁型枠下の支保工用サポートは、必ずダブルにして立ててください。この場合必ずしも受金具の下に立てる必要はありません。
※又、梁側型枠は、梁底型枠に乗せる様組み立ててください。(図A)
2. セパレーターは、梁型枠側板の座屈を防ぐため垂直方向400mm、平方向700mm以内の間隔に取り付けてください。(図B)
3. コンクリートは局部的に堆積させないように打設してください。
4. ビームは集中荷重がかからないよう、ご注意ください。
5. ビームをかける梁型枠はそれぞれの側板でスラブ荷重を支えます。傷んだコンパネの使用は避けてください。
6. 梁側型枠の高さがスラブ下750mm以上の場合は、縦端太を入れてください。
7. 『荷取り構台』には使用しないでください。

(図A)



(図B)





■根太無し工法ピッチ表 (せき板：合板12mm 表面繊維平行方向(強軸)で検討)

床板厚(mm)		120	130	140	150	160	170	180	190	200	210	220	230	250	300	
スラブ荷重(kg/m ²)		488	512	536	560	584	608	632	656	680	704	728	752	800	920	
ビーム スパン (mm)	AX 11	1100														
		1200														
		1300														
	AX 14	1400														
		1500														
		1600														
	AX 18	1700														
		1800														
		1900														
	AX 25	2000														
		2100														
		2200														
		2300														
		2400														
		2500														
		2600														
	AX 32	2700														
		2800														
		2900														
		3000														
		3100														
		3200														
		3300														
	AX 39	3400														
		3500														
		3600														
		3700														
		3800														
		3900														
		4000														
AX 46	4100															
	4200															
	4300															
	4400															
	4500															
	4600															

型枠・支保工

ビーム検討
ビームピッチ(mm)

スラブ荷重 $W=W1+W2+W3$

$W1$ =コンクリート重量：2400kg/m³×スラブ厚 $W2$ =型枠荷重：50kg/m² $W3$ =作業荷重：150kg/m²